

みちのく会は東日本大震災により道内に避難している被災者たちの会です。当会は 2011 年 4 月 23 日に会員同士の互助、地元市民とのコミュニティの発生、経済的自立を目指し、様々な取り組みを行っております。

ホームページ : <http://michinokukai.info/>

ブログ : <http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

メールアドレス : office@michinokukai.info

みちのく会 2013 夏のひとこま

収穫体験ツアーで仁木町に行ってきました。

8月4日(日) あったかい道の企画による収穫体験ツアーに、みちのく会のひだまり倶楽部(シニアの会)のメンバーを中心とした21名で仁木町 井内農園他に行ってきました。



季節の野菜の収穫や生産者の井内さんから、独自のこ

わりの農法などについてのお話を伺い、昼食では農園にて井内さんが育てた羊を命に感謝しながらそれはそれは美味しいジンギスカンをいただきました。参加者自らが、安全を確認して収穫した作物を実際に調理または、口にすることで、安全な食材を求める私たちと安全な食材を提供する生産者が繋が

り、北海道の食文化にもより理解が深まった気がします。農園で、採りたての熟したトマト数種類やブルーベリーをそのまま味わったり、茄子やトマトをその場でラム肉と一緒に焼いて食べる他、白ときねで、餅つきをして、大福を作って食べるという盛りだくさんで、おなかも気持ちもいっぱい。

同じシニアどうし、先輩避難者夫婦と夏休みを利用して行き来しているご夫婦も親しくなり連絡先を交換されながら同じ故郷への想いにも話が盛り上がっているようでした。

帰りに井内農園出発してから余市郡余市町白岩町の海岸で絶景の岬やカニ釣りなど、北海道の日本海の海を体験。

普段、なかなか出て来れないシニアの方たちへの、あったかい道メンバーによる自宅までの送迎もありがたかったです。(本間)



北海道遺産バスツアーで平取町に行ってきました。

8月10日(土) みちのく会主催による北海道遺産体験ツアーに大型バス満席の53名で行ってきました。北海道遺産のアイヌ文化を勉強しに日高の二風谷アイヌ文化博物館を見学。二風谷文化工芸館で、アイヌ模様の切り絵、コースターづくり、刺繍などを体験。みちのく会の会員さんで日高にお住まいのご夫婦が現地でのアテンドを行ってくださいました。



参加した子どもたちも初めて触れるアイヌ文化の文様が示す意味や呼び名にも興味を持ったようです。

当日、コーディネートをしてくださった関係者の方々、大変ありがとうございました。(本間)

夏の夜のアンパンナイト

みちのく会とあったかい道の主催により、8月23日(金)に開催された夏の夜の「ANPAN☆NIGHT」。道内各地から40名ほどの方がいらしてくださいました。大入り満席により、キッチンやカウンター内でひたすら手伝ってくれる方も続出。初参加の方



まで自然体でそんな動きをしてくださることが、この会の面白いところでもあり、何よりありがたい!

職業も出身地も年齢も境遇も実に様々で、想えば、だれもが超素敵な個性の方々ばかり!そんな人たちが繋がるのが、さらなる勇気や楽しい気持ち、そしていい意味でのガス抜きになればと思う。不安な思いや腹立たしい思いを持っている人も多だろうからこそ、それぞれの違う立場を超えて、お互いを尊重しあうこと、そしていくつになっても輝いていたいという本能をくすぐるような話ができること・・・。そんな関係が、心の健康につながるような気がする。

お酒が進み時間が経過するほど、恋ばなや下ネタが多発するのを聞きながら睡眠時間を減らしてでも必要な時間を過ごしている幸せを感じる。

片道4時間運転して来てくれた母子や、仕事が終わって夜中

にかけつけてくれたくまさんこと詞人（ことばびと）の二瓶さん。彼は、みんなの希望にこたえて、深夜にもかかわらず、とびきりのくまさんマジックで、皆を泣かせる作品をプレゼントしてくださり、おかげで、とてもあたたかな気持ちで、そしてこれからもがんばるぞ!という気持ちで飲み会を終了することができました。「震災があったおかげでみんなに出会えた・・・」そんな言葉を何人からも聞いた8月の ANPAN☆NIGHT でした。

次回は9月21日（土）18時より開催します。どうぞお越しください。（本間）

FIVB 女子バレーボールワールドグランプリ 2013 ファイナル札幌大会

日本バレーボール協会様・北海道バレーボール協会様・UHB北海道文化放送様に招待チケットを贈呈していただき8月28日、29日に、道内より多くの会員さんが会場にて試合を楽しめました。感想をいただいた中から、メッセージのご紹介させていただきます。

福島にいた時はバレーボールの試合を自宅のテレビで家族揃って見ていました。母が特に好きで一度位会場で観戦できたら…と、言っていました。母は足が不自由であまり遠出が出来ないので諦めていたと思います。私の娘もテレビの前でニッポン頑張れー!と、大きな声で応援していた事を思い出しました。観戦チケットプレゼントのメールを見た時、母へのプレゼントになる!と思いました。はじめは子供達は幼稚園があるので父と母で行ってもらおうと思っていましたが、こんな機会はそうないだろうと家族全員で行こうと申し込ませて頂きました。生で見る試合は迫力が違いました。子供達もバルーンを持って笑顔で応援していましたし、母は夢が叶ったと喜んでいました。そんな姿を見て見にこれて良かったと思いました。もちろん私もストレス発散になり気持ちがリセット出来て楽しい時間を過ごす事ができました。家族皆で来て良かったと思いました。会場に行かないとこの感動は味わえなかったと思います。北海道で過ごした思いの中でまた一つ素敵な思い出を作る事が出来ました。バレーボール観戦チケットをプレゼントしてくださった北海道文化放送の皆様へ感謝致します。本当にありがとうございました。（匿名）

これからフォーラム in 恵庭 「私たちはここにいるよ」が 開催されました

8月31日に恵庭市で開催された、北海道広域避難アシスト協議会主催の北海道広域避難これからフォーラム in 恵庭『私たちはここにいるよ』に参加してきました。当日は総勢92名の方が全道各地から集まり、札幌以外の避難者さんや市民ボ

ランティアの方、道民の方、いろいろな方が集ういい機会となりました。壇上では各地での避難生活を、おひとりおひとりの言葉で報告して下さいました。その中でも私が印象的だったお話「放射能（食品からの内部被曝）を避けるために海を越えてここ北



海道まで避難移住してきたということ。それは北海道でも気をつけなければならないことを道民の方にも理解してほしい」という言葉が、心にずっと残っていました。私にも「どうして危険性を分かってくれないんだろう」という一方的な思いがあったけれど、果たしてちゃんと伝えて来れたのかな?そんな風に気づき、これから益々、避難者と道民の方で勉強する機会や話し合いの場が大切になってくる時期なのではないかと感じました。

避難者の生活状況は本当に様々で、精神の悪化や孤独にいる方も相当数いることも聞かえてきます。だからこそ『私たちはここにいるよ』と発信し続け繋がり合い、まだまだ助けを必要としておられる方の光になればと、そう実感しました。たくさんの方にご協力いただき無事にフォーラムを終えることができたこと、本当にありがとうございました。（吉住）

2013年9月より毎月開催 「みちのく起業勉強会」

あったかい道企画の「みちのく起業勉強会」が、9月4日にみちのく会月寒事務所で開催され、約20名の参加がありました。参加した会員の藤本さんからの感想をご紹介します。今日は、あったかい道企画、第一回「みちのく起業勉強会」に参加しました。すでに北海道で起業し、成功している起業家様から、避難してきてこれから起業されるみちのく会のメンバーまで、あたたかい雰囲気の中、北海道の冬の経営状況やテナント、フランチャイザのとらえ方まで大変勉強になった。現役の北海道経営者に直接質問できて、直接現場の声が聞けるまず無いこの企画を月に一度のペースで開催して頂けるなんて北海道企業を目指す人には、夢のようなもの。こんな素敵で有意義な時間をつくって頂いた皆様に感謝です。（本間）

みちのく会旭川支部より

会員様はカフェの割引あります

6月7日に旭川市マルカツデパート三階にオープンした「みちカフェ」は、市民個人の方や市民団体と結びつく場として機能し始めています。例えば、被災地を巡った旭川市民（80歳男性）が、当カフェ入り口の壁面を使って約40点ほどの「被

「災地の今」という写真展を開催することを提案してきました。新聞社の取材もあり、近いうちに紙面化される予定です。

コミュニティカフェとしての運営であることが第一の目的でしたので、この軸はぶれないように運営していくつもりです。

また、大切なことですが、カフェの利益が還元される売上が生じれば、些少かもしれませんが支部会員へ帰省費用補助を真剣に考えていました。残念なことです。カフェが会員から搾取するためにやっているなど誤解されている話を聞くことがあります。私からの周知広報が足りないからでしょう、誠に申し訳なく思っています。

カフェでは、みちのく会会員様にお食事ドリンクも全品50円引き致します。ずんだシェイクやずんだ餅に使う「ずんだ餡」も旭川のメーカーさんのものに切替えました。原料由来も道産です。

また、10月以降に旭川司法書士会や医療機関とともにカフェで相談会を実施します。また別途、支部会報などを通じてご案内します。10月初旬には、著名な方とのみちのく会会員限定茶話会を企画しています。他に11月初旬には、比布町の温泉施設へ無料往復バスで行くことも計画しています。

お楽しみにしてください。(金谷)

みちのく会そらち支部より

☆桜台ハッピーガールズ(女子ダンスチーム)

内容:小・中学生の女子を対象としたダンス、パフォーマンスの練習。場所:札幌市厚別区にある雇用促進住宅桜台宿舍管理棟 日時:2013年6月からは毎週日曜日の9時~13時迄(※ただし他のイベント等で使用する場合はそちらが優先になります)

☆わんぱくネイチャー(子供と遊ぶ会)

内容:約3歳から9歳くらいまでの子供達を対象とした頭と体を使っての遊び。場所:札幌市厚別区にある雇用促進住宅桜台宿舍管理棟 日時:毎月第一・第三木曜日の15時~16時50分迄

※9月の第三木曜である19日は管理棟が使えないため第四木曜の26日に行きます。ご注意ください。気軽に見学、参加お待ちしております♪

☆7の日環境美化活動 5月11日からの『ありがとう北海道プロジェクト』をきっかけに岩見沢市環境部の方からそらち支部もとお誘いいただき、6月7日から毎月7の付く日に市内指定の場所で地域の方々と清掃活動に参加できることになりました。次回10月7日は岩見沢6条西18丁目いなほ公園にて午前11時からの予定です。

これからも人と人とのつながりを作り、避難者の新たな人生の一助になるよう努めてまいります。

【そらち支部 問い合わせ先】そらち支部支部長 篠崎龍一
TEL:050-5535-5518

E-mail:michinokusorachi@gmail.com

会員さんのご紹介

小河原美保子さん(福島県須賀川市から北海道江別市に避難)

福島県須賀川市から北海道江別市に移住して1年を迎えました。年齢は57歳、二人の娘たちにそれぞれ一人ずつの子供がいます。娘達は子供を守って3月12日の夕方から避難生活に入りました。



小河原美保子さん

私のような年齢の者が避難~移住と言うのは大変珍しく、「良く移住しましたね」と言われて、自分がかかなり異色のキャラだったという事に何と!最近気づいたというウッカリ者です。私は須賀川市でアフラックサービスショップを経営しております。もう15年間も生命保険の仕事をしています。その仕事を持って北海道上陸!と言うとちょっとカッコイイ?

でも、福島に残してきたお客様の事、お客様の思いなどを考えると、来てはみたけどもう一つ踏み出せないところもあり、昨年8月に北海道に来てから江別市に「保険相談アヒルのたまご」をオープンするまで10ヶ月もかかってしまいました。背中を押してくれたのは福島のお客様でした。

「北海道に福島みなみ保険の看板が上がるなんて誇らしい。」
「あなたが北海道に行ってくれたから、自分達も避難の道筋が見えた。」
「とにかくガンバレ!応援してる。」と、たくさんの応援の声をお手紙やお電話でいただきました。ナンテステキなお客様とお仕事が出来ていたのだと、今更ながら涙が出るほど嬉しく、みんなのためにも北海道で頑張ろうと思いを新たにいたしました。福島のショップで、がんに罹った方の相談に乗ったり、ご家族を応援したり、一緒に治療方法について勉強したりしていた日々がいつでも胸によみがえります。

原発事故以降は、放射能を心配した若いお母さん達の相談の場所になって行きました。ホントに泣いたり笑ったり、怒ったり、色んな事がありました。江別でも同じようなあったかい、役に立てる保険ショップに育てて行くのが今の私の夢です。

江別に避難している方はいますか?札幌で寂しくしてる方はいますか?

私は娘達がいつでも帰れる実家を作りたいという気持ちもあって北海道にやってきました。どうか私の娘になって実家だと思って頼ってくれて良いよ。そりゃ、皆さんのお母さんのように気は回らないかもしれないけど、のんびり思ったことを語れる場所にするからね。

原発事故の影響はまだ始まったばかり、これからも色々な事が起こると思います。その度ごとにきつと怒ったり泣いたりするのかもしれませんが。だけど、私たちは北海道めざしてやって来た。どこからやって来たか何て関係ない。北の大地でこうして出会った。あとはこの大地に根を下ろしてしっかりと生きて行く、そのお手伝いが出来たら私はうれしいです。

【会社の紹介】

有限会社福島みなみ保険サービス

「江別市 保険相談アヒルのたまご」

〒069-0831 北海道江別市野幌若葉町 20-30 ビックユウ 1F

TEL&FAX：011-378-4595

フリーダイヤル：0120-738-766

定休日：毎週月曜日・祝祭日

お知らせ

北海道広域避難 これからフォーラム in 北見 「私たちはここにいるよ」

北海道広域避難アシスト協議会主催による東日本大震災による被災避難者支援フォーラムを、8月31日開催の恵庭に続き、10月26日（土）に北見市で開催いたします。

避難生活が長期化する中、全道各地に避難されている方たちの思いに耳を傾ける場を設け、生活の現状や課題、北海道や市町村、支援団体、当事者団体による多様な活動について理解、共有し、双方のプラスになるような今後の可能性を話し合う機会にしたいと思えます。

話題提供者として、北見市や道東をはじめとする道内に避難されている方、支援団体、当事者団体などが出席予定です。

日時：平成25年10月26日（土）14:30 開場

15:00～16:15 フォーラム 16:30～17:30 交流会

参加費：無料

会場：北見芸術文化ホール（通称：きた・アート21）

北海道北見市泉町1丁目3-22

電話：0157-31-0909

<参加申し込みについて>

メールにて⇒office@hokkaido-assist.org

【件名】「北見フォーラム申込」

【本文】①お名前 ②所属または、避難元の地域 ③ご住所

④お電話番号 ⑤メールアドレス

以上をご記入いただき、上記アドレスに送信していただけますようお願いいたします。

またご確認時の連絡のため、上記アドレスより受信できるように設定のほどお願いいたします。

毎週の茶話会、2013年9月より、毎週水曜日の開催になります。

2011年5月より、毎週木曜日に開催してきたみちのく会の茶話会。今は、チームみちのくの担当者から「みちのくカフェ」という名まえで、毎週メールリングリストでご連絡をしています。この度、9月より、開催曜日を水曜日に変更させていただきました。

大きな理由は、お子さんと一緒に参加するママたちに、少しでもゆっくりとお茶会に参加していただきたいということで、みちのく応援団の「はっちゃん」こと林崎さんが、毎週水曜日に、お子さんの相手をしてくださることになりました。開催場所のみちのく会月寒事務所は、それほど広いスペースではありませんが、向かい側には、児童会館もあります。

最近の茶話会の内容は、会員さんやみちのく応援団による、フェイシャルケアやハンドヨガ、ネイル、出前事業などの勉強会、ニットカフェ、クッキングなど、いろいろな企画が行われています。今後は、集団訴訟、ADRの説明会を予定しているほか、皆さんからの企画をお待ちしています。

みちのく会への会員登録について

このみちのく会通信は、会員以外の方にも、北海道アシスト協議会からのお便りと一緒にお届けしています。

- ・みちのく会に、まだ入会されていない方
- ・会員になっているかどうかわからない方
- ・会員登録したが、会員証（会員番号）が手元にない方
- ・またみちのく会では、会員登録された方に、一斉メール（メールリングリスト）を使用して日常のご連絡やイベントのご招待、お茶会などの交流会の等のご案内しています。メールが届いていない方は、ご連絡ください。

Facebook をご利用の方へ

みちのく会では、公式のフェイスブックページのほかに、会員だけのクローズドの「みちのく会@みんなのページ」という情報共有のページがあります。招待を受けることで利用できますので、本間までメッセージでご連絡いただくか、みちのく会までご連絡ください。

電話：011-826-4092

メールアドレス：office@michinokukai.info

みちのく会のお問い合わせ先はこちら

【みちのく会 事務所】

住所：札幌市中央区南8条西2丁目

市民活動プラザ星園201

電話・ファックス：011-206-1522

Eメール：office@michinokukai.info（月寒オフィス共通）

※入会のお申し込みを随時受付しております（会費無料）

※お電話や、お越しの際は、月寒事務所へお願いいたします

【みちのく会 月寒（つきさむ）事務所】

住所：札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11

交通：地下鉄東豊線：月寒中央駅1番出口から徒歩3分（アンパン道路）

電話・ファックス：011-826-4092